

令和3年度引地川水系有機フッ素化合物調査結果

1 実施機関

神奈川県、藤沢市、大和市及び綾瀬市

2 項目

ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)

3 日程

令和3年8月4日 (水)

4 測定方法

令和2年5月28日付け 環水大水発第2005281号及び環水大土発第2005282号 付表1

5 結果

8地点で調査を行った結果、引地川の4地点、蓼川の2地点で暫定指針値 (PFOS 及び PFOA の合計値として 50ng/L) を超過した。

表 令和3年度引地川水系有機フッ素化合物調査結果

番号	河川名	地点名	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS 及び PFOA 合計値 (ng/L) ^{※1}
①	引地川	草柳橋	11	2.7	14
②	引地川	福田1号橋	110	8.7	120
③	引地川	福田橋	320	27	340
④	蓼川	厚木基地上	12	4.3	17
⑤	蓼川	立川橋	170	20	190
⑥	蓼川	藪根橋	120	4.9	120
⑦	引地川	下土棚大橋 ^{※2}	160	8.4	170
⑧	引地川	富士見橋	160	7 ^{※3}	170

※1 有効桁数2桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」及び「PFOA」の和と一致しない。

※2 工事による濁水の影響を避けるため、約200m上流の六会橋にて採水及び流量の測定を行った。

※3 地点⑧のみ報告下限値が異なる (PFOSが2ng/L、PFOAが3ng/L) ため、PFOAの値が整数値となっている。